



- ◆6月7日頃に梅雨入りしました。今後は雨の状況を確認して、防除やジベ処理が遅くならないように注意して下さい。
- ◆6月2日に延徳地区にて巨峰の開花が確認されました。6月3～5日の低温で生育は停滞気味に推移中。
- ◆開花期になります。種なしぶどうはジベ処理が遅くならないように注意して下さい。

ぶどうセンター付近 露地生育状況	開 花 期	満 開 期	落 花 期
平 年	6月 8日	6月11日	6月14日
昨 年	5月28日	6月 2日	6月 5日
本 年（南部巨峰）	6月5日	6月 9日頃？	6月12日頃？
本 年（北部巨峰）	6月8日頃？	6月12日頃？	6月15日頃？
本 年（シャインマスカット）	6月15日頃？	6月18日頃？	6月21日頃？

【第5回ぶどう薬剤散布（種なし・有核共通）】

散布時期	落花直後（6/15～21日頃） または 前回から10日後			
散布薬剤	水 100ℓ ① コテツフロアブル 50ml（60日前・2回） スイッチ顆粒水和剤 33g（30日前・2回） ジマンダイセン水和剤 100g（45日前・2回） ※種なしは【ビックマグ 100g（葉の健全化）】 または【グリーンデイズ 100g（葉の健全化、微量要素補給）】 （①…劇物のため購入の際は印鑑をご持参下さい）	散布日	月	日
		散布量		ℓ
散布量	10a当り 400ℓ 以上 死角のないようたっぷり散布する			
適用病害虫	べと病・灰色かび病・晩腐病・褐斑病・黒とう病・スリップス類・フタテンヒメヨコバイ			
注意点	① 果粉溶脱防止のため、今回から展着剤は加用しない。 ② ジマンダイセン・ペンコゼブ・リドミルは同一成分のため、散布回数に注意（合計2回まで） ③ うどんこ病の発生が多い場合は、フルピカフロアブル 2,000倍（収穫30日前まで、2回）を加用する ④ ※例年クビアスカシバが発生する園は（劇）パダンSG水溶剤 1,500倍（収穫21日前まで、5回）を主幹部にしっかりかかるように散布する。（果粉溶脱の心配があるため小豆大頃までの散布とする。）			

【第6回ぶどう農薬散布（種なし・有核共通）】

散布時期	落花12日後（6/25～30日頃） 前回から7～10日後			
散布薬剤	水 100ℓ フェニックスフロアブル 25ml（14日前・2回） ペンコゼブフロアブル 100ml（60日前・2回） ① アドマイヤー顆粒水和剤 10g（21日前・2回） （①…劇物のため購入の際は印鑑をご持参下さい）	散布日	月	日
		散布量		ℓ
散布量	10a当り 400ℓ 以上 散布ムラ、死角のないようたっぷり散布			
適用病害虫	べと病・晩腐病・黒とう病・褐斑病 スリップス類（チャノイロアザミウマ）・ケムシ・ハスモンヨトウ・ハマキムシ			
注意点	※ペンコゼブフロアブルは施設栽培（雨よけ含む）の登録が開花前までのため、 <u>雨よけ栽培はペンコゼブに代えてホライズンドライフロアブル 2,500倍（収穫21日前まで、3回）を散布する。</u> ※葉面散布剤は果粉の溶脱が心配されるため、混用しない。 ※ペンコゼブフロアブルは収穫60日前なので、早生品種は収穫日に注意する。（サニールージュ等） ①ジマンダイセン・ペンコゼブ・リドミルは同一成分のため、散布回数に注意（合計2回まで） ②種なしぶどう、雨よけ栽培については袋かけ前最終防除となるため、散布ムラや死角がないよう散布する。 ③主幹害虫発生園は主幹、主枝にたっぷり散布する。心配な樹は粗皮削りも実施 ④カメムシ・コガネムシ発生園はアドマイヤーに代えてアーデントフロアブル 2,000倍（収穫前日まで、4回）を散布してもよい。 ⑤薬剤の飛散に注意し、近隣の畑にはドリフトのないよう十分注意しましょう。			